

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人新潟総合学院
長岡こども・医療・介護専門学校
自己点検・評価委員会
「学校関係者評価」専門部会委員会

学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校自己点検・評価委員会「学校関係者評価」専門部会委員会は、令和2年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しました。以下のとおり、報告致します。

1. 「学校関係者評価」専門部会委員

- ・本校専門分野における業界関係者
高頭 真悟氏 社会福祉法人 信濃川令終会 特別養護老人ホーム岡南の郷
古田 修氏 新潟市こども創造センター
- ・本校卒業生
小林 葵氏
- ・本校校長
山本 ヒサ 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校
- ・本校校長の指名する者
山本 秀一郎 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校
山口 昌一 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校
平澤 一郎 学校法人新潟総合学院 長岡こども・医療・介護専門学校

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価
基準1 教育理念・教育	・目標達成に向けた一貫した指導が評価できる。 ・社会情勢が変化している中において、常に対応できる人材の育成を期待している。
基準2 学校運営	・今以上に事務職員と教職員の連携・役割を更に徹底し、効率的な学校運営を図って欲しい。
基準3 教育活動	・今後も実践的な教育に力を入れて欲しい。 ・必要とされる知識技術も年々変わってきているため、業界で活躍できる人材を輩出してほしい。 ・介護現場は人材不足が続いている。卒業後に専門職として活躍できる人材育成をして欲しい。
基準4 教育成果	・各学科が専門性をもって学んでいる。 ・保育、医療事務、介護福祉の専門職として活躍できる人材を育成できている。
基準5 学生支援	・学生支援機構やNSG奨学金等の奨学金支援に加え、学校独自の学費減免制度等、金銭面においての支援が充実している

	<p>点は評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職試験対策や優良企業への求人斡旋等、就職活動における学生支援についても評価する。
基準6 教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやタブレットを授業に活用できる環境が整っている。 ・施設設備をさらに有効活用した授業展開を期待する。 ・介護実習室など実技・演習を学べる環境が整っている。
基準7 学生の募集と受入	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の目的意識の差が大きく感じる。 ・実習やボランティア活動など外部の人と接する機会も多いため、社会人としてのマナーを身に付ける事も重要である。
基準8 財務	<ul style="list-style-type: none"> ・本学は、NSGグループの専門学校群の一員であり、財務に関しても本部経理部が一元管理している。
基準9 法令等の順守	<ul style="list-style-type: none"> ・社会で活躍できる人材を育成する学校であり、法令等の遵守は、業務の根本的要素である。
基準10 社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な地域活動等に参加して地域貢献している点は評価できる。(コロナ禍以前) ・実習施設等でのボランティア活動にも可能な範囲で参加していることは評価できる。

3. 学校関係者評価 全体的な総括

項目	評価
自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域に根づいた学校として、常に現場のニーズに応えられる人材を多く輩出して欲しい。 ・スペシャリストの育成に留まらず、人間力育成にも尽力している点が評価できる。今後の継続を期待する。 ・保育教諭の資格取得など人材育成をして欲しい。保育を取り巻く状況は非常に厳しいが、その状況にも対応できる人材育成と共に、卒業後の支援は学生にとってはありがたいものになるのではないだろうか。 ・介護人材の育成を更にお願したい。

以上